



西覚寺だより

第十七号 年四回発行

法要のご案内

● 日 ち 七月十五日(金)

● 孟蘭盆会

時間 午前十時半 ～ 正午
内容 ・ 正信偈(草譜) 六首引き
・ ご法話

※感染症対策のため「お斎」はありません。
申し訳ありません。

● 物故者追悼法要

時間 午後一時半 ～ 午後三時頃
内容 ・ ご家族御焼香
・ 正信偈(草譜) 六首引き
・ ご法話

※別途ご案内させて頂きました物故者の
ご家族の皆様は、ぜひお参りください。
物故者のご家族以外の方も、どうぞ
お参りください。

● 布教使 竹本崇嗣 師(刈谷布教所・中堅)

● 持ち物 必ずマスク着用の上、御参拝下さい

お念珠、門徒式章(お持ちの方)、
御仏前(受付にお渡し下さい)

どなたさまも、ぜひお参り下さい!!



親鸞聖人ご誕生850年 記念法要について



来年、2023年は、浄土真宗という宗派にとって、またひとつ大切な節目の年となります。京都のご本山・本願寺では、『親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要』がお勤まりになります。

親鸞聖人は、1173年に、京都・日野でお生まれになりましたので、そこから計算して、来年が御誕生850年、というのわかりますかと思えます。

では、立教開宗とはどういうことか。漢字の意味から読み解くと、教えが立てられ、宗派が開かれる、という意味です。つまり、「浄土真宗という宗派が開かれたとき」と考えて頂いて、差し支えないかと思えます。

では、それがいつなのか。実際の所、親鸞聖人が「いま、この年に、浄土真宗という宗派を立ち上げます!」と言ったり書き示されたというような記録はありません。ですので、後世の方々が「このときを浄土真宗の立教開宗の年としよう」と決められたというのであり、それが「1224年」なのです。

では、その1224年がどういう年なのかというと、親鸞聖人の主著であり、私達浄土真宗の教えの大綱が著されている、「教行信証(顕浄土真実教行証文類)」が、ある程度書きあがったのではないかと考えられている年です。実際には、それから後、20年以上も書き直され、書き加えられていってしまうのですが、浄土真宗の教えの根幹であり、親鸞聖人の主著の一旦の完成の年である1224年が、浄土真宗の立教開宗の年とされています。

その節目の年をお祝いして、来年京都のご本山では、記念の法要が勤まります。ただ、依然としてコロナの状況は不透明であり、参拝者はかなり制限されるようですので、みなさままで一緒にご本山にお参りを、というわけにはいかなそうです。

そこで来年、西覚寺でも『親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要』を勤めたいと思います。これを「おまちうけ法要」といいます。肩書のある先生をお呼びして、西覚寺有縁の皆様とともに、浄土真宗の節目の年を、慶讃(お祝い)したいと思っております。その時は、どうぞみなさまお参りください。

春季彼岸会の様子

3月21日（祝）

西覚寺では、『春季彼岸会』が勤まりました。春季彼岸会は、例年、午後だけの法要です。この日はお天気にも恵まれ、春のうららかな陽気に誘われて、50名ほどの方がお参りに来てくださいました。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏
春季彼岸会は、ここもと、正信偈のお勤めをした後は、住職の友人のアマチュア落語と住職の法話、という内容で勤めています。今年の落語の演目は『寿限無』でした。『寿限無』という名前は、実は阿弥陀様にちなんでつけられたとかなんとか。その後の法話では、そんな阿弥陀様の「無量のいのち」について、お話をさせて頂きました。

そして、今年はなんと、春季彼岸会の落語にあわせて、あるご門徒様が、『寄席文字』を書いてきてくださいました。すごいですね！嬉しいことです。ありがたいこと、もったいないことでした。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏



永代経法要の様子



4月25日（月）

西覚寺では、『永代経法要』が勤まりました。午前十と午後と、それぞれお勤めをさせて頂き、のべ70名ほどの方がお参りにみえました。

この日は、法話のご講師として、本願寺派（西本願寺）の方ではなく、安城市の史跡にもなっている真宗大谷派（東本願寺）の野寺町本證寺の御住職をお招きしました。安城市仏教会の理事を一緒にしたことがご縁でした。

本證寺の御住職は、「絵解き」法話をして下さるので、いつもの法話とはまた違った形で、お参りに来てくださったみなさまも、興味深く聞いてくださっていました。今回は『熊野観心十界曼荼羅』の絵解き法話をしてくださいました。地獄や餓鬼、修羅などといった、仏教の説く死後の恐ろしい姿を聞かせて頂きました。そして、その話を通して、「死後の世界」と説かれるような恐ろしい心が、いまこの私の内に巣くっている。いや、そんな恐ろしい心が成就した出来上がりだが、この私であることを聞かせて頂いように思います。そして、そんな私とちやさまの存在を、改めて知らせて頂きました。



▽お盆のお参りについて△

お盆期間のお参りについて、毎年のご事情ですが、茲許ご縁を頂戴した方もいらっしゃると思いますので、改めてお知らせさせていただきます。

● 8月12日～15日の間

基本的に、ご希望のお日にちは承りますが、時間についてはこちらで決めさせて頂きます。一週間前にはお時間が決まっているかと思しますので、改めてお電話でご確認ください。

● 8月12日

この日に関しては、従前から安城市外のお宅を重点的にお参りさせて頂いた日にしておりますので、安城市内の方は、ご遠慮ください。

コロナ禍が完全に収束したわけではありませんが、お盆は亡き方を偲びお参りする大切な機会です。お近くにお住まいのご家族だけでも構いません。ぜひお参りさせて頂きませう。今までもお盆参りをされていない方も、どうぞご依頼ください！



浄土真宗本願寺派
西覚寺

安城市朝日町12・8

0566・76・3594

<http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/>